

# 一般質問

12月15日、16日、19日の3日間わたって一般質問が行われました。一般質問とは市政全般について市当局の考えなどを聞くもので、23人の議員が質問を行いました。主な内容は次の通りです。  
会派名および質問方式は略称です(正式名称は欄外参照)。

市議会ホームページやYouTube福岡市議会チャンネルで議員と市当局の実際のやりとりがライブと録画でご覧いただけます!



福岡市議会 検索

**ユネスコ無形文化遺産に登録された博多祇園山笠の一層支援を** 民間

**問** ユネスコ無形文化遺産に登録された博多祇園山笠の持つ魅力を広く発信し、しっかりと継承していくためには、伝統を担う地域住民だけでなく、市としてもこれまで以上に関わり、支援していく必要があると考えるが所見を。

**答** 今回の登録は、市の魅力や世界に発信する絶好の機会になると考えている。これを機に、市として、魅力の発信により努めるとともに、博多祇園山笠が永きにわたって継承されるよう、市民とともにしっかりと支援していく。



ユネスコ無形文化遺産に登録された博多祇園山笠

**化学物質への市民認識を深め 注意喚起や予防対策の充実を** 民間

**問** 健康に悪影響を及ぼす可能性がある化学物質について

は、分析結果を待つことなく予防できることはいち早く進めるべきである。化学物質に対する相談体制や医療機関を充実させ、注意喚起等の対策を図るべきと考えるが所見を。

**答** 化学物質の影響については、対策が進められてきた一方、医学的な因果関係等が未解明である等、有効な予防方法等の研究の進展が待たれるところであるが、今後とも新たな知見の収集や市民・事業者への啓発等に取り組んでいく。

**問** 西区西部地域は、九州大学の進捗により、目覚ましい発展を続ける一方、人口増加に伴う交通、教育環境に関する新たな課題発生や、逆に過疎化が進む校区もある。今後のまちづくりをどう進めていくのか。

**答** 九州大学を核とした研究開発の強化、質の高い生活環境づくりを進めるとともに、農林水産業の振興や定住化の促進等、それぞれの地域特性を生かしながら、まちづくりをしっかりと取り組んでいく。

**災害時に避難所となる公民館にもマンホールトイレの整備を** 民間

**問** 避難所となる公民館については、災害時のトイレ対策

は非常に重要であり、既存マンホールのふたを外すだけで簡単にトイレを設置できるマンホールトイレの導入が必要と考える。改築などに合わせてマンホールトイレの整備を進めるべきではないか。

**答** 災害時における避難所のトイレ対策は、重要な課題と考えており、公民館におけるマンホールトイレについては、今後公民館の改築に合わせて整備するなど、前向きに検討していく。

**問** 本市は、ユニバーシアード大会の開催を契機に「国際スポーツ都市・福岡」としてさまざまな国際大会を開催し、その実績やノウハウは本当に評価されている。アジアのリーダー都市として、今後の目標や取り組みについて思いを問う。

**答** 市民や経済界などの協力を得ながら、市が一丸となり、今後開催するラグビーワールドカップや世界水泳大会を成功に導くとともに、\*スポーツMICEの推進に取り組み、国際スポーツ都市としての地位を確かなものとしていく。

**児童養護施設等で生活する子どもたちの進路支援の充実を** 市民

**問** 児童養護施設や里親の元で生活する子どもたちの高校卒業後の進学・就職を支援するため、市独自の給付型奨学金制度の創設や現行の大学等支度金の増額、施設が設けている基金の市民への広報など支援を拡充すべきではないか。

のホームページ等を活用し、施設が独自に設けている基金の広報に取り組みとともに、今後とも国の動向も注視しながら、市としてどのような支援ができるか研究していく。

**問** 特別養護老人ホームごとの入所待ち数を市が一元的に公開することから検討すべきではないか。

**答** 施設ごとの申込者数の公表は、各施設の了承が必要など課題があるが、市としてさまざまな情報を提供することは重要であると認識している。より分かりやすく情報提供する方法を関係団体とも協議しながら検討していく。

**問** 介護を必要としている高齢者が増加している。超高齢社会の支え手となる介護者の負担を軽減し、高齢者が住み慣れた地域や家庭において安心して暮らすことができる介護福祉事業を推進していくべきと考えるが所見を。

**家族の絆の再生のため 三世同居、近居の推進を** 民間

**問** 核家族化の進展、共働き世帯の増加等により、家族間の絆や地域コミュニティが希薄に

なる中、家族の絆を再生し、世代間の助け合いで高齢者や子育て世帯を支えるため三世同居・近居の支援を推進すべきと思うが所見を。

**答** 必要なときに支援が得られる社会であるためには、家族の存在や地域での見守りも必要と認識している。超少子高齢社会でも、市民が住み慣れた家庭や地域で安心して暮らし続けることができよう、全市一丸となつて取り組む。

**問** 福岡空港の民間委託に当たっては、福岡空運協会に投資を

**答** 福岡空港の新たな運営会社にも、本市は投資をしない方向である。株主でなければ、今まで確認できた情報も取れなくなり、県との航路誘致の方向も一致しなくなるなど、本市のためにならないのではないかと懸念している。

**空港運営の民間委託は、法令により自治体との密接な連携の下に行うものと規定されている。出資によらずとも、本市は、空港法協議会などの仕組みを生かし、積極的な情報交換を行うことで、運営会社と密接に連携を図っていく。**

**新たな中小企業振興条例は 小規模事業者の振興を柱に** 産

**問** 中小企業振興条例の全面改正に際しては、企業の海外展開や観光・MICEなどを無理やり盛り込むのはやめて、本市経済を支えている中小企業、小規模事業者の振興を行政の柱にしていきたいことを明確にすべきと思うが所見を。

**答** 新たな条例には、中小企業の成長発展を促進する施策を市の責務として位置づける必要があると考えており、制定を契機に、中小企業がイノベーションに果敢にチャレンジするモデル都市となるよう、しっかりと取り組む。

**問** 増加を続ける訪日外国人への対応強化のため、本市の地下鉄などの公共交通機関や、商店街などの商業施設、観光施設やMICE関連イベントなどに多言語音声翻訳システムの活用を推進すべきと考えるが所見を。

**答** 多言語音声翻訳システムの高度化を進め、観光分野等における利活用の実証が行われている。本市での活用については、システムの高度化や他都市の導入状況を踏まえながら、適宜検討していく。

**林産物の活性化のために 本市の森林資源の活用を** 市民